

City Of MinamiKyushu



Anniversary

南九州市市制施行10周年

Minamikyushu

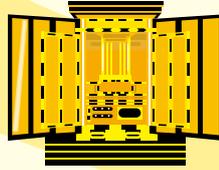
〔広報〕

南九州

市制施行10周年記念特別号

まちをめぐらせて

「ごころ」やすらぐ



実り豊かな 南九州市



南九州市長
塗木 弘幸

平成19年12月1日に旧穎娃町、旧知覧町、旧川辺町が合併して「南九州市」が誕生して10周年を迎えました。

今日まで、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、旧3町の融和と一体感の醸成を主眼にまちづくりの施策を展開してまいりました。

この10年間では、銘柄統一をした「知覧茶」やさつまいもを中心とした農業、また、伝統工芸である川辺仏壇の技術向上や商工業の活性化、進出企業による雇用の創出など産業の振興が着実に実を結んできております。

本年3月には、南薩縦貫道が南九州知覧インターまで開通しました。

念願の交通大動脈が全線開通し、産業面だけでなく観光面や交流人口の増大が見込まれ、地域の皆様の明るく元気な活動と経済の活発化を大いに期待しているところであります。

一方、国内情勢は、グローバル化の急速な進展、本格的な人口減少や少子高齢化の進行など大きな変革期の中、社会

保障改革や財政再建、頻発する地震災害や水害からの復興や景気対策など様々な課題を抱えています。

本市においても、人口減少と少子高齢化、厳しい財政状況への対応は待ったなしの最重要課題であり、地方創生関連事業をはじめ、基幹産業である農業や観光、地場産業の振興、社会基盤や生活環境の整備、健康・福祉の向上や教育・文化の振興、定住促進などに、本市の魅力ある特性を活かしながら、スピード感を持って総合的に取り組んでいく必要があります。

これからも、10年間の歩みを基礎として、さらなる発展を目指し、「創造と活力に満ちた住みたくなるまち」の構築を、市民の皆さまとともに着実に進めてまいります。



はばたけ 未来へ



南九州市議会議長
蔵元慎一

南九州市合併10周年を迎えることができ、またしたのは、合併に携わってきた皆様や市の発展に寄与されてこられた多くの市民の皆様、関係者の皆様方のご尽力の賜物であると、改めて、敬意と感謝を申し上げます。

振り返りますと、県内で市町村合併が進む中、穎娃町、知覧町、川辺町は、それぞれ合併を模索しながら、最後にたどりついたのがこの三町合併でありました。

新市の議会は、24人の議員で新たなスタートを切り、当初から議会だよりを発行、平成25年度には、市民の負託に応えることや開かれた議会を実現するために議会基本条例を制定し、議会報告会や議会中継を行ってきました。

その間、議員定数を20人に削減するなど議会改革にも取り組み、一般質問や議案質疑など行政当局とは活発な議論を交わし、二元代表制の機能を十分に発揮しながら市政運営の一翼を担ってまいりました。

現在、人口減少対策や効率

的な行財政運営などが求められる中、次世代へ責任をもって引き継げるまちづくりの推進や各地で地震や台風、大雨による災害が発生していることから、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの実現にお一層努めてまいります。

合併10周年という記念すべき大きな節目を迎え、市議会としまして、市民の皆様との連携を深め、市民の意思をより反映できるように尽力してまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





▲給食センター完成

▼ひまわりバス運行開始



南九州市10年間の歩み



平成19年

12月1日 南九州市誕生

23日 霜出勘平氏が初代市長に就任

市議会議員24人決まる

平成20年

7月31日 北九州市と交流協定締結

8月3日 青森県平川市と友好親善交流盟約締結

15日 「平和を語り継ぐ都市」宣言

10月1日 「市の花」、「市の木」決定

4日 全国茶品評会「産地賞」5連覇

11月4日 佐賀県小城市と友好姉妹都市提携協定締結

平成21年

7月18日 市民交流センターひまわり館開館

9月1日 ひまわりバス運行開始

平成22年

4月1日 かつめ保育所開所

「えい秀峰園」民間移管

8月27日 南薩縦貫道「川辺道路」一部開通

平成23年

8月29日 南九州市立学校給食センター新設

12月11日 霜出市長再選、市議会議員22人決まる



▲市の花「桜」



▲市の花「ひまわり」



▲市の木「茶」





▲知覧特攻平和会館に収蔵されている
遺品や手紙など

▼南九州市 3 回目のお茶日本一



▲南薩縦貫道「川辺道路」開通

平成24年

- 1月20日 三遊亭歌之助さんが世界の桜（42種84本）を知覧特攻平和公園に植樹
- 2月29日 県下一周駅伝大会で川辺チーム 21年ぶりの総合優勝
- 4月19日 指宿広域汚泥リサイクルセンター 開所式（指宿市）
- 7月18日 オートバイレースの場外車券売り場「オートレース川辺」が川辺町神殿にオープン
- 8月8日 南薩縦貫道「川辺道路」川辺ダム（IC）―川辺IC間全線開通
- 10月8日 南九州市マスコットキャラクター「お茶むらい」誕生
- 12月1日 市制施行5周年記念式典 開催（川辺文化会館）

平成25年

- 3月23日 全国伝統的工芸品仏壇仏具展において、川辺仏壇が経済産業省商務情報政策局長賞、九州経済産業局長賞など受賞
- 4月1日 南九州市役所南部出張所を廃止
- 4月23日 「南九州市立古殿保育所」民間移管
- 4月31日 南九州市立知覧図書館 子どもの読書活動の優秀実践図書館において文部科学大臣賞を受賞
- 5月20日 知覧特攻平和会館 入館者1700万人達成
- 8月30日 南九州市のお茶が日本一に!!全国茶品評会において、産地賞を受賞

平成26年

- 2月4日 ユネスコ世界記憶遺産登録に向け、知覧特攻平和会館に収蔵されている遺書や手紙など333点を「知覧からの手紙」として申請
- 4月1日 「南九州市立星の子保育所」民間移管
- 4月1日 「南九州市民音頭」制定
- 6月12日 南九州市が提出したユネスコ世界記憶遺産申請、落選
- 10月6日 まちづくり支援自動販売機を市内2カ所に設置



▲市マスコットキャラクター
「お茶むらい」兄（左）と弟（右）





▲女性消防団誕生



▲旧陸軍三式戦闘機「飛燕」



▲赤崎 勇氏へ名誉市民称号



▲戦艦ミズーリ記念館

平成27年

- 9日 NPO法人顕娃おこそ会が過疎地域自立活性化優良事例表彰式において、総務大臣賞を受賞
- 7日 青色LEDを開発した赤崎勇氏（南九州市知覧町出身）が2014年ノーベル物理学賞に選ばれる
- 11月10日 南薩縦貫道（知覧道路）知覧トンネル貫通
- 2月1日 顕娃幼稚園 新園舎落成式
- 3月31日 顕娃看護学校閉校
- 4月11日 市内の小・中学校で「土曜授業」開始
- 11日 米国ハワイ真珠湾に係留する戦艦ミズーリ記念館で知覧特攻平和会館企画展を開催
- 5月29日 口永良部島新岳噴火
- 6月25日 ノーベル物理学賞受賞者 赤崎勇氏へ南九州市名誉市民称号を授与
- 8月25日 台風15号 鹿児島県直撃
- 8月28日 全国茶品評会で産地賞を受賞
- 9月3日 知覧特攻平和会館の旧陸軍三式戦闘機「飛燕（ひえん）」を日本航空協会に返還
- 24日 2017年ユネスコ記憶遺産登録を目指した「知覧に残された戦争の記憶・1945年沖繩戦に関する特攻関係資料群」が日本ユネスコ国内委員会選考委員会の審議で落選
- 10月5日 指宿消防署庁舎内の「南薩3市（指宿市・南九州市・南さつま市）消防指令センター」が開設
- 12月13日 南九州市女性消防団員誕生
- 23日 マイナンバー制度「マイナンバー（個人番号）」の通知開始
市長に塗木弘幸氏当選、市議会議員20人が決まる
塗木弘幸氏南九州市長就任

歴代市長・副市長

歴代	市長		副市長	
	氏名	就任期間	氏名	就任期間
初	霜 出 勘 平 幸	H19.12.23 ~ H27.12.22	山 内 廣 行	H20.2.1 ~ H24.1.31
2	塗 木 弘 幸	H27.12.23 ~ 現在	鶴 田 康 夫	H20.2.1 ~ H28.1.31
3			本 多 公 明	H28.2.1 ~ 現在

歴代教育長

歴代	氏名	就任期間
初	小 野 義 記	H20.1.8 ~ H26.1.7
2	中 村 洋 志	H26.1.8 ~ 現在

▼観光大使の高田みづえさん



▼5年ぶりの大雪



▼NHK のど自慢公開生放送



知覧茶ロゴマーク▶



▲南九州消防署開所

平成28年

- 1月1日 マイナンバー（個人番号） 利用開始
- 24・25日 5年ぶりの大雪
- 3月27日 南薩縦貫道（知覧道路・霜出道路） 開通
- 4月1日 南九州消防署 開所。南薩3市消防指令センター 運用開始
- 14日 平成28年（2016年）熊本地震 発生
- 8月4日 全国田んぼアートサミット2016 in南九州市 開催
- 12月10日 全国茶品評会で産地賞を受賞

平成29年

- 2月20日 日高（旧姓・高田）みづえさんを南九州市観光大使に委嘱
- 3月11日 「川辺仏壇工芸会館」落成
- 26日 南薩縦貫道「知覧道路」開通
- 27日 知覧平和公園マルチビジョン設置（日亜化学工業（株）より寄贈）
- 31日 神殿小学校閉校
- 4月1日 第2児童館閉館
- 4月1日 校区・地区公民館の名称を地区公民館に統一
- 市税などのコンビニ納付開始
- 市茶銘柄「知覧茶」に統一
- 出生祝命名プレート贈呈開始
- 7月9日 NHKのど自慢が川辺文化会館で開催
- 11日 鹿児島湾喜入沖で地震、南九州市で震度5弱
- 8月21日 知覧特攻平和会館の入館者1900万人達成
- 27～30日 知覧武家屋敷群で2018年NHK大河ドラマ「西郷どん」ロケ
- 9月5日 清水磨崖仏から鎌倉期の人骨発見

歴代議長・副議長

歴代	議長		副議長	
	氏名	就任期間	氏名	就任期間
初	西 良 仁	H 19.12.28 ~ H 21.12.22	下 窪 一 輝	H 19.12.28 ~ H 21.12.22
2	田之脇 厚	H 21.12.22 ~ H 23.12.22	森 田 隆 志	H 21.12.22 ~ H 23.12.22
3	森 田 隆 志	H 23.12.27 ~ H 25.12.24	今 吉 賢 二	H 23.12.27 ~ H 25.12.24
4	菊 永 忠 行	H 25.12.24 ~ H 27.12.22	満 留 秀 昭	H 25.12.24 ~ H 27.12.22
5	蔵 元 慎 一	H 27.12.25 ~	加治佐 民 生	H 27.12.25 ~

市制施行10周年記念特別表彰

市では、市制施行10周年を記念して、市政発展に功績のあった34人を表彰します。

部門別の内訳は、地方自治功労者9人、教育文化功労者6人、社会福祉功労者13人、産業経済功労者5人、一般篤行功労者1人です。

受賞者は次の方々です。(敬称略)

表彰状

◆地方自治功労者

◎元消防団副団長

米満 憲一

◎元消防団知覧方面副団長

川原 隆男

◎元消防団知覧方面隊長

武田 健志

◎情報公開・個人情報保護審査会会長

坂東 義雄

◎元固定資産評価審査委員会委員長

西牟田 隼人

◎元行政嘱託員

田代 正矩

◎行政嘱託員

小山田 文男

◎行政嘱託員

三宅 秋光

◎元選挙管理委員会委員長

松尾 壽男

(平成29年11月5日表彰)

◆教育文化功労者

◎元学校・幼稚園医

浮邊 正和

◎元学校医

松清 五男

◎元学校歯科医

川路 道昭

◎元教育委員会委員長

福留 直人

◎元知覧特攻平和会館語り部

松元 淳郎

◎知覧特攻平和会館語り部

峯 苦真雄

◆社会福祉功労者

◎人権擁護委員

高吉 敬

◎一般社団法人南薩医師会会長

東 剛造

◎元穎娃町民生委員児童委員協議会会長

田原 義幸

◎元川辺町民生委員児童委員協議会会長

有馬 芳太郎

◎元知覧町民生委員児童委員協議会会長

江平 定

◎元川辺保護区保護司会南九州市会会長

東 定

◎元川辺保護区保護司会南九州市会会長

山本 森満

◎元川辺保護区保護司会南九州市会会長

丸野 吾一

◎元川辺保護区保護司会南九州市会会長

上木原 克男

◎元川辺保護区保護司会南九州市会会長

森 重明

◎元川辺保護区保護司会南九州市会会長

原田 洋子

◎食生活改善推進員連絡協議会会長

森 重明

◎食生活改善推進員連絡協議会会長

原田 洋子

◎食生活改善推進員

鮫島 民子

◎食生活改善推進員

西牟田 ミヨ

◆産業経済功労者

◎元茶業振興会会長

下窪 正己

◎元茶業振興会会長

山口 友治

◎元川辺町仏壇組合理事

久保 純一

◎元川辺町仏壇組合副理事

外蘭 市藏

◎元穎娃町商工会会長

川畑 義行

◆一般篤行功労者

◎地域貢献活動

前原 親範





南九州市市制施行 10 周年記念事業

児童生徒図画・作文コンクール

市制施行 10 周年を記念して、図画（テーマ「わたしの大好きなまち」「紹介したいまちの風景」など）・作文（テーマ「大好きな南九州市」「南九州市の自慢」「未来の南九州市」など）コンクールを実施しました。多くの作品の出品をいただき、ありがとうございました。審査の結果は、以下のとおりです。（敬称略）



【図画の部】

受賞名	学校名	学年	氏名	画題名
市長賞	大丸小	5年	内村愛里紗	豊年太鼓踊り
市議会議長賞	川辺中	2年	林 花音	朝の風景
教育長賞	高田小	1年	西 陽円	おいしい おやさい いっぱいだ
教育長賞	宮脇小	3年	下野 遥佳	進め未来へ
教育長賞	中福良小	4年	村方 仁美	ねぶた祭り
教育長賞	川辺中	3年	堂園 愛	朝日

【作文の部】

受賞名	学校名	学年	氏名	題名
市長賞	川辺中	1年	有村 春菜	日本一のまち。ふるさと南九州市
市議会議長賞	別府小	6年	原田 瑛人	元気なまちづくりを目指して
教育長賞	中福良小	2年	石間伏賢慎	ぼくは、おまつり男
教育長賞	霜出小	3年	上之 柊人	日本一あまいちらん茶
教育長賞	松ヶ浦小	5年	村内 史玖	守り続けていきたい
教育長賞	川辺中	1年	岩下 梓	未来の南九州市
教育長賞	知覧中	2年	葛迫 ゆい	スピーチコンテストを開催する南九州市
教育長賞	瀬娃中	2年	鍋谷 愛実	私と南九州市民音頭 ～ふるさとを胸に～

【高校生作文の部】

受賞名	学校名	学年	氏名	題名
市長賞	川辺高	1年	浮辺 歩実	未来の南九州市
市議会議長賞	川辺高	3年	池田 幸	私の住む南九州市
教育長賞	川辺高	2年	池田 馨	未来に残し続ける南九州市

市制施行10周年記念事業

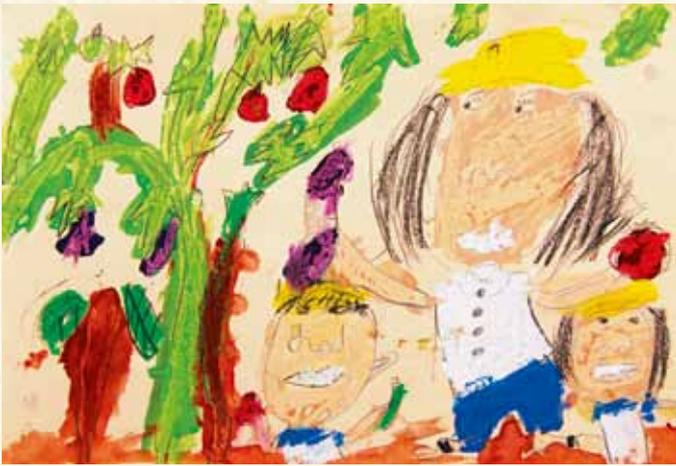
◆ 図画コンクール ◆

【市長賞】 「豊年太鼓踊り」 大丸小学校5年 内村 愛里紗



【議長賞】 「朝の風景」 川辺中学校2年 林 花音





【教育長賞】

「おいしい おやさい いっぱいだ」
高田小学校1年 西 陽円



【教育長賞】

「進め未来へ」
宮脇小学校3年 下野 遥佳



【教育長賞】

「ねぷた祭り」
中福良小学校4年 村方 仁美

【教育長賞】

「朝日」
川辺中学校3年 堂園 愛



◆ 作文コンクール ◆

作文の部

「市長賞」

「日本一のまち。」

ふるさと南九州市」

川辺中学校一年 有村 春菜

わたしは、この春、父の転勤でここ南九州市に引っ越してきた。初めて南九州市という都市を聞いたとき、分かりやすく、親しみのある都市名だなと思った。そのわけは、九州の南に位置するこの市にとってはぴったりの名前だし、九州地方という言葉は聞き慣れた言葉であるので、他の県民からもすぐに覚えてもらえる都市名だと感じたからだ。

この南九州市が合併し、今年で十周年を迎える。もともと三町には、それぞれの町ごとに、町の発展を願いながら、全町民が英知を結集し、一人一人が幸福になることを願いつつ紡いできた歴史がある。だから、それぞれの町には特色があり、自然やその

土地の風土を生かし、大きく発展してきた。この三町が合併して十年が経過し、新たな歴史を刻みつつある本市の勢いは旧町時代の三倍、いや相乗効果でそれ以上の力を発揮している。わたしは、本市の特色を生かしながらこれからの市政発展について考えてみたい。

まず、南九州市にある中学生同士の交流会をしようかと思う。同じ南九州市立の中学校ではあるが、距離的に離れているので、他校の中学生同士はほとんど会うことがない。そこで、わたしは、同じ中学生同士もっと部活動や生徒会、スポーツなどを通して交流し、お互いに高め合う機会を増やしてはどうかと思う。そうすることで、中学生同士のきずながさらに深まっていくことになると感じる。

次に、これからはスマートフォン時代であるので、学校のホームページの中に、各学校や地域の紹介、そして生徒が南九州市の情報などの発信をしていくことで、全国的に広く知られる都市になるのではないかと思う。

さらに、わたしたちが、あいさつをしたり、誰に対しても優しく親切にしたりする

ことで、みんなが笑顔で楽しく暮らせる市になっていくためのきっかけ作りをしていきたい。

また、これからは、もっと南九州市の環境を生かした発展をしていくことが大切だと思う。本市は、道路環境が整備され、近隣の市に仕事に通うにしても一時間以内で通勤できる。さらに、なによりも山や川、海などの豊かな自然があり、空気や水もおいしく、気持ちよく暮らせる環境が整っているとと思う。生活するには便利だし、子育てには最高である。このことをもっと生かしていくとさらに人口が増えてよいのではないだろうか。

今、まさに太陽に向かって元氣よく咲き誇る市の花『ひまわり』のようにみんなの笑顔がきらきらと輝いている。これからの十年は、わたしたち中学生が主役の十年となるような気がする。わたしは、市民一人一人がこの南九州市に暮らしてよかった、そして、国中の人が本市で生活してみたいと思ってもらえるようなそんなまちになれるようわたしたちのふるさと、日本一の南九州市にみんなと手と手を取り合いながら作り上げていきたいと思う。

◆ 作文コンクール ◆

高校生作文の部

【市長賞】

「未来の南九州市」

川辺高校一年 浮辺 歩実

私の家は兼業お茶農家です。南九州市のお茶は全国でも有名で、生産量日本一です。近年ではさまざまな賞を受賞しており、高い評価を得ています。そんなお茶を作っている私の家族を私はいつも誇りに感じています。私は小学校高学年のときにさえみどりという品種の幼木を植える手伝いをしました。慣れない作業が多く、畑仕事の大変さを知りました。また、終わった後の達成感はとても気持ちのよいものだと思います。その幼木の葉で作られた紅茶が、先日出来ました。私の家の畑のお茶で作られたというだけでとてもおいしく感じました。いつも飲んでいる市販の紅茶よりも苦みが少なくて飲みやすかったです。また、

少しではあるけれど自分が関わっていることがとてもうれしく思いました。

最近、友達と話をしているときに、あまり緑茶は飲まない人が多いことがわかりました。たしかに、私たちの身の回りには手軽に飲めるものが溢れるようにあります。その中から緑茶をもっと普及させたいと思いました。

私はお茶を普及させるためにお茶を使った特産品を考えてみたらよいと思います。手軽にお茶を楽しめるように粉末茶にしたり、お菓子にしたりして、パーキングエリアや道の駅、空港などの人の集まる所で販売すればいいと思います。また、最近ではSNSに写真を載せる人が増えてきています。だから、写真を撮るときにかわいくて目を引くようなスイーツも開発されるとよいと思います。このような商品を観光客の人達が気軽に立ち寄れる、特産品を買うことができる道の駅ができるとよいと思います。知覧、川辺、穎娃の特産品を、より多くの全国の人に知って欲しいと思います。

また、知覧の商店街は、開いている店が少ないので私はもったいないと思います。観光客を乗せたバスがせつかく通るのだから、人が集まるような店があればよいと思います。店を開きたい人に安く貸し出せば、町の活性化につ

ながるのではないのでしょうか。

これからの時代、少子高齢化がさらに進むと言われていきます。その未来を支えていかなければならない私たちが、この町を守らないといけないと思っています。南九州市がこれからもっと発展していけるように何かできることを見つけないと思っています。



2017 南九州市フォトコンテスト ～南九州市で撮った“心が動いたこの瞬間”～

市制施行10周年を記念して、一般部門、市の木・花部門、未来に残したい南九州市部門の作品を5月から9月にかけて募集を行ったところ、多数の応募がありました。ご応募いただき、ありがとうございます。9月28日、熊副 穰氏（日本写真家協会会員等）、児玉 龍郎氏（松陽高校非常勤講師等）、市関係者で審査を行い、最優秀賞をはじめとする入賞作品13点を決定しました。入賞者は以下のとおりです。（敬称略）

【総評】

市制施行10周年記念事業として開催されたが、どの作品もレベルはかなり高い。南九州市の自然、産業、行事など活写され、魅力的に表現されていた作品が多かった。

「一般」部門

【最優秀賞】 「祭神の登場」 又木 徹（鹿児島市）



【講評】

川辺町飯倉神社の御田植祭のワンシーン。どこかユーモラスな主役「猿田彦」を正面から大胆に切り撮った1枚。背後には神官がかろうじて見える。一切の無駄を省いたギリギリの構図からは、人々の気配や神事の余韻までも感じさせてくれる。古い面と衣装によって、延々と受け継がれてきた地域の伝統行事の歴史が垣間見える。風格のある写真。

【優秀賞】 「流れる」 松菌 宏貴 (南九州市)



【講評】

番所鼻に打ち寄せる波を高速シャッターで止めないで、スローシャッターで流動的に見せたことで、自然の力強さと、しなやかさ…を同時に表現している。ダイナミックで、美しい波の造形。色調もクールだ。周到的な機材の準備と計算から生み出されたこの1枚から、豊かな表現力と鋭い感性が感じられる。

【優秀賞】 「太鼓に酔った夜」 久保 政行 (薩摩川内市)



【講評】

知覧ねぶた祭りのクライマックス。大太鼓の響きや、「ヤーヤードー」の掛け声まで聞こえてきそうな迫力。周辺には、ねぶたに酔いしれる多くの人々の顔が確認できる。やや俯瞰したカメラアングルと、レンズ選択で、近景から中景・遠景と、何層にも重なっているのにストレスのない画面になった。

【優秀賞】 「自然エネルギーの里」 中川 義昭 (鹿児島市)



【講評】

茜色に染まった空とひつじ雲。息を呑むような圧巻の風景だ。自然がつくり出したこの光景を、見たように再現する「写真力」を感じさせる。風力発電のプロペラを添景として配置したことで、ただの風景写真で終わらせていない。エネルギーの未来までをも表現している。

【佳作】「雲景色」
葛岡 克紀 (南九州市)



【佳作】「ヤーヤ ドー」
岡野 公一 (南九州市)



【佳作】「幻想的な世界」
高吉 宣良 (鹿児島市)



【佳作】「勝目太鼓踊り」
木元 邦義 (鹿児島市)



【佳作】「浮辺十五夜ソラヨイ」
諏訪園 保 (鹿児島市)



「市の木・花」部門

【茶】^{にこ}「和やかバロン作業」
中川 義昭（鹿児島市）



【桜】「春の笑顔」
辰野 元之（鹿児島市）

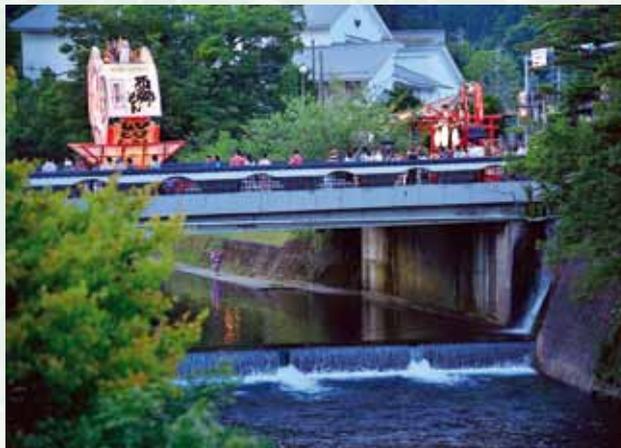


【ひまわり】「夏の終り」 隈元 亮一（南九州市）



「未来に残したい南九州市」部門

「小京都の夏風情」 岡野 公一（南九州市）



南九州市民歌

詞：石原 一輝
曲：田口 博巳

♩=110

しおの かおりの あさい かぜー ふいら てきて
かわの かながれが あだい ちをー ひらきて
かおる ぶんか と で ん と うー うけ

あけゆく きぼうの ひがの ぼるの ころふれあぐ
きらめく いなほの ちゃが みめど りの ちはぐや
あらたな りそ の ひが も え る ひかり かがや

う この ふるー さとは えがおでーくら す ゆめ
む この ふるー さとは へいわをーいの る あいた
く この ふるー さとは あしたをーひら く う

が あ る ここに うま れたー この よーろこび
が あ る ここに いこ むえー この よーろこび
が あ る ここに すみ ゆくー この よーろこび

よ ゆ た か にー ー の び ゆ くー み な み
よ し み あ わ い せー ー あ ば ふ れ たー み な み
よ し み あ ら い へー ー は ば た くー み な み

きゆう しゆうー ー
きゆう しゆうー ー
きゆう しゆうー ー

一 潮の香りの 朝風ふいて

あけゆく希望の 陽がのぼる
心ふれあう このふるさと
笑顔でくらす 夢がある

ここに生まれた このよろこびよ
豊かに伸びゆく 南九州

二 川の流れが 大地をひらき

きらめく稲穂と 茶のみどり
命はぐくむ このふるさと
平和をいのる 愛がある

ここに憩える このよろこびよ
しあわせ溢れる 南九州

三 薫る文化と 伝統うけて

あらたな理想の 炎がもえる
光かがやく このふるさと
明日を拓く 詩がある

ここに住みゆく このよろこびよ
未来へ羽ばたく 南九州

南九州市民音頭

歌：平木場千晶

作詞：小島ひろ美

作曲：松田 恭雄

編曲：山田 恵範

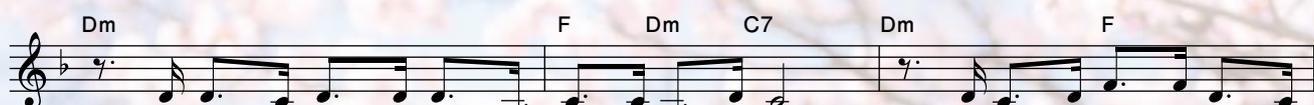
♩=110



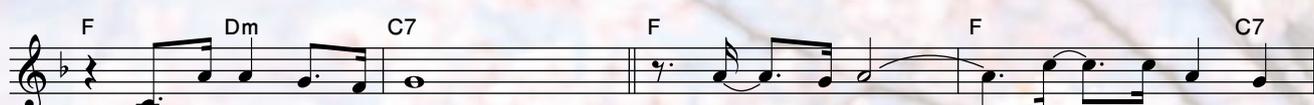
① ハー — パッ との さい いた よ さ く ら が その ら
 ② ハハ — やう まん の が い た ぎ ゆ ひ を の お お
 ③ ハハ — うさ つ が ま よ か こ お っ っ ひ の た も ち
 ④ ハハ — さ つ が ま よ か こ お っ っ ひ の た も ち



に み や ー ど る く み ど
 へ い き れ は な が び ら ま ー い お ー ど
 で め れ わ は が っ と て と ー も や ー な す
 れ し ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ



こ こ ろ う ら ら か る ふ る さ と の ま ち は は な し や か
 き ぼ の う あ ふ れ な な る る さ と の ち ら は は あ な し た れ む
 し ゃ



は る ざ か ー り る ー な み ー な み ー き ゆ ー う し ゆ う
 ひ が の あ ー ー よ み ー な み ー き ゆ ー う し ゆ う
 ふ れ ん あ ご ー ー よ み ー な み ー き ゆ ー う し ゆ う



ひ と つ に ー な ー つ て ー う た つ て お ど れ ぼ
 ひ と つ に ー な ー つ て ー う た つ て お ど れ ぼ
 ひ と つ に ー な ー つ て ー う た つ て お ど れ ぼ



ゆ め も さ く ー ー も さ ー ー く
 ゆ め も さ く ー ー も さ ー ー く
 ゆ め も さ く ー ー も さ ー ー く

- 一 ハー パッと咲いたよ 桜が空に
 浮かれ花びら 舞い踊る
 心うららか ふるさとの
 町は華やか 春盛り
 南九州 一つになって
 歌って踊れば
 夢も咲く 夢も咲く
- 二 ハー 山の頂き 夕日を望みや
 平和願って 鳥も啼く
 希望あふれる ふるさとの
 空に明日も 陽が昇る
 南九州 一つになって
 歌って踊れば
 夢も咲く 夢も咲く
- 三 ハー 運が向くよな 香りのお茶で
 歴史ひもとき ひと休み
 実り豊かな ふるさとに
 笑顔こぼれる ふれあいに
 南九州 一つになって
 歌って踊れば
 夢も咲く 夢も咲く
- 四 ハー 薩摩よかそこ おじゃったもんせ
 名所名物 数あれど
 春夏秋冬 ふるさとは
 みんなうらやむ 南国よ
 南九州 一つになって
 歌って踊れば
 夢も咲く 夢も咲く

南九州市 市民憲章

わたくしたちは、郷土の豊かな自然と歴史・文化を大事にし、世界の恒久平和をめざす、創造と活力に満ちたところやすらぐまちをつくるために、市民憲章を定め実践します。

一 わたくしたちは、平和といのちの尊さを語り継ぎ、豊かな自然を活かした美しいまちをつくりまします。

一 わたくしたちは、ふるさとへの愛情と誇りをむねに、進んで学び、生涯学習のまちを築きます。

一 わたくしたちは、きまりと責任を重んじ、やさしく礼儀正しい人になります。

一 わたくしたちは、たゆまぬ努力で産業を興し、くらしといのちが輝く住みよいまちをつくりまします。

一 わたくしたちは、心身の健康に努め、あたたかい家庭と、共に支え合う地域社会をつくりまします。

〔平成二十年十二月一日制定〕

南九州市「平和を語り継ぐ都市」宣言

私たちの郷土は、温暖な気候と豊かな自然、多くの歴史的文化遺産に恵まれ、これらを大切に継承しつつ新たな文化を創造するという先人のたゆまぬ努力と英知によって発展してきました。

しかしながら、先の大戦では、特攻という人類史上類のない作戦により多くの若者がこの地から南の海へ飛び立ち、かけがえのない命が失われました。

私たちは、現在の暮らしが戦争による多くの尊い犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

そして今、南九州市は、安心・安全な南の食料供給基地として新たな歩みを始めました。

南九州市は、次の世代へこの豊かな郷土を引き継ぎ、限りない発展を続けていくために世界の恒久平和を願い、非核三原則の堅持を求め、平和と命の尊さを語り継いでいくことを決意し、ここに「平和を語り継ぐ都市」を宣言します。

平成20年8月15日宣言

南九州市